

柏木教会月報

5月号

東京都新宿区北新宿3-1-18

☎03-3368-2156

キリストによって、神の子とされる

エフェソの信徒への手紙一章一節～四節

牧師 村松 晃美

「天地創造の前に、神はわたしたちを愛して、御自分の前で聖なる者、汚れない者にしようと、キリストにおいてお選びになりました。」（四節）

「わたしたちの主イエス・キリストの父である神は、ほめたたえられますように」（三節）。神の栄光をほめたたえると繰り返して言われます。宗教改革者カルヴァンはユネーヴ教会信仰問答で、人生の目的は、創造者である神を知ることであり、神がわたしたちを創造され、この世界に置かれたのは、わたしたちによってこそ自分が認められるためであると記しています。神が、わたしたちをいかに祝福してくださったかを知るとき、わたしたちは神を讃美し、ほめたたえる者となるのです。神は「キリストにおいて」、わたしたちを選び、神の子にしようとした定めてくださいました。わたしたちの功績や努力によつて神の子とされたのではなく、それは、ただキリストによるのです。本来、神の子は、独り子であるイエス・キリストだけであり、わたしたちは神に造られたものです。しかし、神に背き暗闇に属していたわたしたちを、神は一方的な愛によって、暗闇の支配から光へと移していくきました。わたしたちはイエス・キリストに結ばれているときに、神の子とされるのです。

神は天地創造の前から、人間の側には何の条件もつけずにわたしたちを選び、神の恵みと憐れみによって救いの中に入れてくださいました。それがキリストの十字架です。イエス・キリストはわたしたちを神の子にしてくださるために、十字架の贖いを成し遂げてくださいました。神である方が、わたしたちのためにその王座を捨てて、すべての者から見捨てられ、十字架にかかるべく大きったのです。罪人である者がその血の贖いによって罪を赦されたのです。

その上神は秘められた計画を、わたしたちに知らせてくださいました。それは、救いの業が完成するときに、あらゆるもののが頭であるキリストのもとに一つにまとめるというものです（一〇節）。ユダヤ人と異邦人といふ隔ての壁も、キリストが十字架によって一つとしてくださるのであります。今、現実にある民族間の敵意、互いに愛し合えない現実、また人間と自然界の間でも対立は起こっています。しかし、神はそれらをそのままにはしておかれません。すべてのものがキリストにあって、一つとされるのです。

キリストによって神の子とされたわたしたちは、神のものであるという証印を押され、御國の相続者とされました。神がわたしたちをこのように満ちあふれる祝福で満たしてくださるのは、わたしたちが神の栄光をたたえるためであるのです。詩編一〇二編一九節に、「主を賛美するためには民は創造された」と記されています。神をほめたたえるために創造され、イエス・キリストに結ばれて神の子とされたわたしたちは、造り主である神をほめたたえて礼拝する民であるのです。